

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	その他専門店〔酒〕 （経営者）	・秋祭が終わって一段落しているが、これから年末に向けて、よく売れる。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・9月と10月は季節商材やアパレルを中心に売れているので、年末年始やクリアランス等も期待が持てる。昨年ほどではないが、観光客も土日を中心にかなり入っており、相乗効果で上向きになることが見込まれる。
		一般小売店〔菓子〕 （総務担当）	・年間の消費動向から、季節的な変動要因が見込める。
		スーパー（店長）	・気候等は順調に推移しそうであり、利益は上がっていくことが期待できる。
		衣料品専門店（経営者）	・季節もので売上アップを期待したい。
		乗用車販売店（役員）	・販売の状況は少しずつ良くなると思っていたが、受注状況は依然悪い。年末から来年1～3月にかけてハイブリッド車の投入等があるので、市場が盛り上がることを期待している。
		タクシー運転手	・12月と1月は忘年会等があって、1年間でもっとも忙しい時期に入る。昨年は忘年会の頻度が少なかったが、平均月2回という声もあり、引き続き、今年も前年並みで推移するとみている。
		通信会社（営業担当）	・年末商戦に向け新端末が続々と登場することから、徐々に市場は活性化すると推測される。キャリア間競争も昨年に比べ熾烈になるのではないかと想定しており、反面脅威でもある。
		通信会社（支店長）	・新商品の販売、新サービス開始による販売量の拡大が見込まれる。
		通信会社（営業担当）	・新商品の発売開始を控えており、今後、年末と年度末の商戦期での販売拡大が見込まれる。
		観光名所（職員）	・来客数の動きが回復しており、今後も続くことが期待できる。
	美容室（経営者）	・例年通り年末年始に来客数が増えるであろう。	
	変わらない	商店街（代表者）	・年金その他収入の見込みが立っておらず、全般的に低調に推移する。
		商店街（代表者）	・年末年始の予約状況は伸び悩んでいる状況。現時点に比べ、景気が良くなる兆しは感じられない。
		一般小売店〔生花〕 （経営者）	・小規模の飲食店がいくつか開店し、年末に向けて開店祝い商品を見込んでいるが、その他の商品の売行きは鈍いので、良くなるとは言えない。
		百貨店（営業担当）	・まだ先行きが分からない。今後の政治の状況によっては、景気が変わってくる可能性がある。
		百貨店（営業担当）	・高額商品に動きがみられたが、ブランド商品群は前年割れとなった。購入単価は前年を上回ったものの、商品群にバラツキがある。
		スーパー（店長）	・円高による輸入品の売価が安くなって、販売量が増える可能性はあるが、全体的には変わらない。
		スーパー（店長）	・好転要素が見当たらない。冬の節電関連の需要増が予測されるが、自社の業態には直接影響しない。
		スーパー（企画担当）	・年末に向けて企業間競争が激化し、顧客の買回りがさらにシビアになると推定される。東北産地の商品が売りにくい分他の地方の商品も不足し価格の上昇につながり、買回りに影響がでると予測できる。
スーパー（人事）		・変わらないではなく、分からないというのが本音。円高の影響も気になる場所である。	
コンビニ（店長）		・主力商品はほぼ前年並みで推移している。年内は今の状態が続くのではないかと。お客様の様子から買い控えや節約といった感じは伝わってこない。	
コンビニ（総務）	・地域景気の好況が期待できず、来店客数の回復が見込めない。		
コンビニ（商品担当）	・食品等の消費拡大への好材料が見当たらず、楽観的な構想を描きにくい。		
衣料品専門店（経営者）	・気温の低い時期は、単価の高い冬物商材が順調に売れるため、非常に期待が持てる。しかし、客数が少し減っているのが気がかりで、売上は伸びないものと推測される。		
家電量販店（店長）	・テレビの需要が見込めないで、ほとんど今と変わらないと推測される。		

		家電量販店（店員）	・秋冬モデルが出て、単価が上昇するかと思われたが、機能面を落としてでも購入価格を抑える傾向が強く、今後も景気が良くなる要因が見出せない。
		家電量販店（営業担当）	・年末にかけて、テレビの買換え需要はほとんどないと予想され、その他の商品でカバーできる見込みもない。その上、増税についての不安や食費にかかる出費増に対する懸念などから、買い控えが一層強くなるだろうと推測される。
		乗用車販売店（従業員）	・年末にかけて、販売量が落ちると予想される。
		乗用車販売店（営業担当）	・当社に限っては、新型車効果で多少の上向きが期待されるが、ユーザーの購買意欲は良いとは言えない、また、低価格車の販売台数が増えたことから、売上単価が低下している。
		観光型旅館（経営者）	・2～3か月先の予約状況は、今と変わらず横ばい状態。忘年会の予約などもますます入っており、客筋にもよるが、良くもなく悪くもないと予想される。
		旅行代理店（支店長）	・円高での海外旅行需要の回復が続いているが、タイの洪水や欧州の信用不安などの影響で、今後の海外旅行需要の低下が懸念される。
		通信会社（企画）	・季節要因の他には大きな要因がなく、現状と変わらない。
		ゴルフ場（従業員）	・全体的な予約の状況を見ると、3か月先も、昨年より弱いような状況。今年度初めから、ずっと減少している状況が続いている。
		美容室（経営者）	・客単価の減少傾向が続いており、消費意欲の低迷が懸念される。
		設計事務所（所長）	・地域産業等の草の根レベルで、NPO法人など地道な動きはあるが、景気浮揚までは至らない。
	やや悪くなる	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・地場大手スーパーの大型店舗が近く開店予定のため。
		スーパー（財務担当）	・来年度からの増税、円高の長期化など構造的にマイナスに働く要因が控えており、年末消費にどのような影響を与えるか懸念している。
		スーパー（企画・営業担当）	・今冬は、節電、節約志向からエコ関連商品に期待している。年末年始も自粛ムードから家で過ごすケースを想定し、自家消費が増えることを期待する。しかし、景気自体は良い方向に向かっていくとは考えにくい。
		衣料品専門店（経営者）	・東日本大震災のための復興増税が予定されているため。
		衣料品専門店（総務担当）	・若干の購買意欲の変化を感じるが、円高や増税など景気にマイナスになる要因ばかりで、顧客や取引先からは景気の良い話は聞かない。景気が回復する兆しはまだ感じられない。
		乗用車販売店（従業員）	・タイの洪水で自動車部品の一部製品が生産できない状態。東日本大震災からようやく立ち直りかけた矢先のことで落胆している。先行き不透明である。
		住関連専門店（経営者）	・東日本大震災や原発の影響で、買い控え傾向が続いており、耐久消費財はなかなか厳しい状態が続いている。
		都市型ホテル（経営者）	・円高で、海外進出企業の収支は悪化するであろう。今の政府が増税を前面に出しており、このままでは景気は悪くなっていくものと推測される。
		競艇場（職員）	・売上増が期待できそうな材料は見当たらず、よくて現状維持か、やや落ち込むのではないだろうか。
	悪くなる	一般小売店〔乾物〕（店員）	・とにかく売上が悪い。将来については、年金問題、増税、円高など、良い話が全くないので、景気対策をしっかりとしてほしい。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	・景気が良くなる要素が何一つない。
		設計事務所（職員）	・被災地以外の地方には、補正予算による公共事業配分が見込めず、例年と比べても大幅な減収、減益は避けられない。当地域の業界に勝者はいない。雇用確保、生活維持が精一杯。
企業動向関連	良くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・11月と12月は年間で一番売上が上昇する時期なので、今後は良くなる。
	やや良くなる	一般機械器具製造業（経理担当）	・海外需要はエネルギーや資源関連を中心に引き続き増加が見込め、国内需要は機械の老朽化による買換えで回復が見込める。
		建設業（総務担当）	・現在のところ、手持ち工事に若干余裕がでてきたので、今後、明らかな赤字受注は避けられる見込み。
	変わらない	建設業（経営者）	・台風や大雨の災害復旧工事にかけるしかない状況である。
		輸送業（経営者）	・社会に閉塞感が漂っており、良くならないように思われる。

	不動産業（経営者）	・この半年間、異常に低調な状況で推移している。住宅需要、事業用案件とも、非常に厳しい状況が続いており、今後も同じような状況がみられると思う。最近是不動産の収益に関する物件の問い合わせが増えてきている。株価低迷、為替の状況等から、そのようなことがみられると推測される。	
	広告代理店（経営者）	・今後2～3か月の間に新規オープン等の案件も少なく、多くの得意先情報では依然として広告費削減の状況が見込まれる。また印刷費の値上げ等もあり、更なる価格競争が予想される。	
	公認会計士	・関与先企業の経営者の話では、今の現状では設備投資も控えざるを得ないと判断をしている企業が多い。不動産価格が低迷していることや、電力問題等が影響しているのではないかと推測される。3か月先の景気は今と変わらず、先行きは非常に不透明である。	
やや悪くなる	食料品製造業（商品統括）	・円高要因に尽きる。	
	木材木製品製造業（経営者）	・悪くなる要素ばかりが見受けられ、プラス要素は見当たらず、全く不透明である。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・産業用のエンジニアリングをしているが、今は、景気が止まったように感じる。電子材料は非常に好調であったが、ここへ来て少しストップした感がする。LED等の電気材料の設備は一段落したかなという感じがしている。今後もそれが続くともっている。	
	電気機械器具製造業（経理担当）	・欧州の信用不安に円高の影響が加わり、景気は悪化している。受注量の減少、価格の値下げ要望が今後さらに強まる見込みである。	
	輸送業（営業）	・新規顧客から引き合いがあっても、景気低迷による売上不振等を理由に、他社の運賃を提示して、より低い運賃による受託や過剰な付帯サービスを要求してくる事例が後を絶たない。適正運賃を大幅に引き下げると経営を圧迫するばかりか、輸送品質を低下させるので、極力応じないようにしている。	
悪くなる	鉄鋼業（総務部長）	・円高影響により受注激減は避けられない。	
	輸送業（支店長）	・荷主のコストダウン要請に対する同業他社との競争が激化し、固定費ダウンを図って経営を維持するも、もはや限界に達している。	
雇用 関連	良くなる	-	
	やや良くなる	人材派遣会社（営業）	・様々な年末商戦に備えて労働力が不足気味になるので、派遣の引き合いも徐々に増加する。また、パート、アルバイトの季節雇用も増えていくことが見込まれる。
		職業安定所（職員）	・12月中旬頃まで現在の雇用特需の状況が続くと考えられ、求人状況は良くなると思われる。
	変わらない	人材派遣会社（営業部長）	・求人案件数は堅調に推移しているが、求職者の動きが鈍く、今後もマッチングには苦勞する。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・年末に向け消費は高まるとは思うが、ファンダメンタルは上向きになる材料が無い。東京や大阪など大都市圏の広告出稿は上向きで景気も戻って来ているようだが、地方にまで回ってくる材料が見つからない。
		職業安定所（職員）	・医療、福祉分野での求人意欲が活発になっているが、有資格者の絶対数が不足しているミスマッチ状態であり、雇用が増えるとは考えられない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・求人数の増える見通しが無い。特に、事務職の求人は前年度に比べて大幅に減少しており、供給過多の状態にある。
	やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・新卒採用により、人材派遣の需要が一時減少する可能性がある。
		求人情報誌（営業）	・県内の地場企業の業績は前年並みか下がっているところが多い。年末賞与にも反映され、商業も振るわないことが予想される。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・例年同様、年末にかけて求人数が減少すると考えられる。
民間職業紹介機関（所長）		・好転材料がなかなか見えて来ない状況である。タイの洪水の影響を受ける業界もあり、11月、12月にかけて生産を調整しようとする企業も出てきている。	
悪くなる	-		